

平成24年度 第2回教育研究評議会議事録

日時 平成24年5月16日(水) 14時30分～17時04分
場所 事務局大会議室・工学部大会議室(テレビ会議)
出席者 伊東、石井、碓氷、柳澤、山崎、浅利、舩橋、杉山、佐藤、寺村、今野、
國宗、塩川、荒川、酒井、西原、増田、青山、塩尻、東郷、佐古、星野、
鈴木、糠谷、永津、渡邊尚、田中、村井、加藤の各評議員
欠席者 梅澤、渡邊修、三村の各評議員
陪席者 大戸、徳山の各監事
中村、佐藤、木村の各学長補佐
山本保健センター長

I 議事録の承認について

平成24年度第1回教育研究評議会議事録(案)を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 静岡大学教員免許状更新講習企画委員会規則の一部改正について

石井委員から、教員免許状更新講習の実施体制が確立されたことに伴う、
標記規則の一部改正について、資料1により説明があり、審議の結果、原案
どおり承認した。

2 国立大学法人静岡大学教職員労働安全衛生管理規程の一部改正について

山崎委員から、平成24年度から保健センター所長に保健センター浜松支
援室長が任命されたことに伴う、標記規程の一部改正について、資料2によ
り説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

3 教職大学院認証評価自己評価書について

浅利委員から、6月末に教員養成評価機構へ提出する教職大学院認証評価
自己評価書について、資料3により説明があり、各部局において検討の上、
次回本会議で審議することとした。

4 平成23事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

浅利委員から、6月末に国立大学法人評価委員会へ提出する標記報告書に
ついて、資料4により説明があり、5月末日までに各部局から当該内容につ
いて意見を求め、さらに執行部において確認を行った上で、再度各部局に配
布し、次回本会議で審議することとした。

5 新研究所設置・創造改組等準備委員会報告について

碓氷委員から、教育研究評議会の下に設置された、新研究所設置・創造

改組等準備委員会の検討結果について、資料5により報告した後、「新研究所におけるミッション」、「新研究所コア教員の選定の考え方」、「新研究所の構成員（コア教員及びコア教員以外の教員）の考え方」、「新研究所の名称」及び「新研究所コア教員」について提案があり、審議の結果、これらの考え方等を承認した。

また、議長から、新研究所設置の目的は、重点領域研究分野の全学的体制の構築及び研究所構成員の教育力を生かした若手人材育成拠点とする旨の説明があった。

（意見交換で出された主な意見）

- 議長から、創造科学技術大学院、電子工学研究所、遺伝子実験施設及び機器分析センターの全教員は一旦修士課程所属とし、新研究所のコア教員に関しては改めて新研究所、創造科学技術大学院に本務を移すこととしたいとの発言があった。
- グリーン科学技術研究所グリーンバイオ研究部門における新任教員人事は、本研究所の中核であり、遺伝子実験施設の准教授ポスト及び人件費を使用した上で、学長裁量人件費を加え対応していくことも検討されている。
- 新研究所における目標と競争的資金事業との関連について説明いただきたい。（以下議長から回答）
 - ・キャリアパス開発支援制度は、ポストドクターキャリア開発支援事業との関連であり、現在名古屋大学との連携により応募を計画している。
 - ・東アジア大学との連携強化は、大学の世界展開力強化事業との関連であり、日本とASEANにおける大学とのコンソーシアムの形成については、農学部を中心として検討中であり、SENDプログラムについては、教育学部を中心として検討中である。
 - ・グローバル教育の推進は、グローバル人材育成推進事業との関連であり、石井理事及び村井学長補佐を中心に協力願う部局を選定し、検討していく予定である。
- グリーン科学研究所グリーンバイオ研究部門のミッションの記載について、コアメンバーとのアンマッチが見受けられる。
- 5. 新研究所の名称、【極限画像＋ナノバイオ系】平成26年度以降に係る記載については、役員会から示された（平成24年2月企画戦略会議）内容とするべきである。
- 新研究所・創造科学技術大学院の組織構成図については、参考資料とし、今後、改めて提案していただきたい。

6 色づけ教員の取扱いについて

石井委員から、色づけ教員の取扱いについて、資料6により説明があり、意見交換を行い、来月以降引き続き審議を行うこととした。

また、議長から、質問事項等があれば事前に提出願いたい旨の発言があった。

(意見交換で出された主な意見)

- 大学教育センターに教員を集めるメリットは、全学の外国語教育に責任を持つ教員が明確になること、カリキュラムの統一性が増すこと、学部人事の影響を受けずに専任の教員を確保できることにある。
- 人件費の移管について、早急な対応には無理があることから、長期的な移管を考えている。

7 ゴメルステート大学（ベラルーシ共和国）との大学間交流協定の更新について

村井委員から、標記協定の更新について資料7により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

8 カセサート大学（タイ王国）との大学間交流協定の更新について

村井委員から、標記協定の更新について資料8により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

Ⅲ 報告事項

1 企画戦略会議報告

議長から、第2回企画戦略会議（H24.5.9）について、資料9により報告があった。

2 国立大学協会東海・北陸地区支部会議について

山崎委員から、国立大学協会東海・北陸地区支部会議について、資料10により報告があり、給与改定特例法の対応は、代償措置等の検討結果に基づき教職員組合と協議していきたい旨発言があった。

また、同委員から、総務省行政評価局による「法曹人口の拡大及び法曹養成制度の改革に関する政策評価」に基づく勧告が法務省及び文部科学省に行われ、本学法科大学院の今後の取り組みについて検討要請があった旨報告があった。

3 平成23年度監事業務監査改善要望事項に対する役員会の基本方針について

浅利委員から平成23年度監事業務監査改善要望事項に対する役員会の基本方針について、資料11により報告があり、部局等に関わる事項について協力要請があった。

4 平成24年3月卒業・修了者の就職状況について

杉山委員から、平成24年3月卒業・修了者の就職状況について、資料12により報告があった。

なお、議長から、就職状況の未確認者については、引き続き、各部局にお

いて情報把握に努めていただきたい旨要請があった。

5 「学術情報の利用に関する調査」の集計結果について

加藤委員から、「学術情報の利用に関する調査」の集計結果について、資料13により説明があり、今後、電子ジャーナルの見直しを検討する中で、利用を希望するタイトルについて、調査を行うことの協力依頼があった。

6 叙位・叙勲について

議長から、名誉教授（電子工学研究所）水品静夫氏、名誉教授（工学部）児山仁氏及び名誉教授（工学部）清水孝氏が瑞宝中綬章を受章されたことについて、資料14により報告があった。

7 日本学術振興会学術システム研究センター研究員候補者の推薦について

鈴木委員から、標記候補者の推薦について、資料15により報告があり、外部資金獲得をより一層活性化するため、平成25年度における同候補者について各部局へ推薦依頼があった。

IV その他

1 静岡大学人文社会科学部名称変更記念第3回市民公開シンポジウムについて

佐藤委員から、標記シンポジウム及び記念式典について、席上配付資料により案内があった。

以上